学校番号	2001

令和５年度　理科

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	地学基礎（啓林館）						
副教材等	セミナー地学基礎（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

小・中学校での理科の学習を終えて，地球について「地球の内面」，「地球の表面」，「地球の周辺」という３つの観点をみると，われわれの地球はどのように捉えることができるのか。地学基礎では，３つの観点をさらに深く学習し，地球の環境や宇宙の中の地球として捉えて，環境問題の解決など考察してください。また，宇宙の誕生から宇宙の構造をとらえ，その中の１つの惑星地球として，地球の環境や歴史，地質など学んでいきます。

２　学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め，目的意識をもって観察，実験などを行い，地学的に探究する能力と態度を育てるとともに，地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ，科学的な見方や考え方を養う。さらに，応用的な概念や原理・法則を理解させ，地学の現象を数式で表現し，理解できる力を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	観察，実験などを通して地学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。地学的な事物・現象に関する観察，実験の技能を習得するとともに，それらを科学的に探究する方法を身に付け，観察，実験の過程や結果およびそこから導き出した自らの考えを的確に表現する。	地学的な事物・現象の中に問題を見出し，観察，実験などを行うとともに，事象を実証的，論理的に考えたり，分析的・総合的に考察したりして，問題を解決し，事実にもとづいて科学的に判断したことを言語活動など通じて表現する。	地学的な事物・現象に関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究するとともに，科学的態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	移り変わる地球	地球の誕生 地球の生命と進化 地球史の読み方	a:地球と宇宙について理解し,知識を身に付けている。 b:地球と宇宙の仕組みや未知の領域を考察し，考えを表現することができる。 c:地球と宇宙の学習内容に主体的に取り組み。課題や実習に主体的に取り組みことができる。	課題成果 実験実習レポート 小テスト た 定期考査	課題成果 実験実習レポート 小テスト 定期考査	授業態度 発問評価 課題取組 ノート提出 実験実習レポート
2学期	固体地球とその活動・大気と海洋	地球 活動する地球 大気の構造 太陽放射と大気 海水の運動 日本の天気	a:地球内部や大気・海洋や天気を理解し，知識を身に付けている。 b: 地球内部や大気･海洋や天気を多角的に理解し，考察や分析・比較を行うことができる。 c: 地球内部や大気･海洋や天気の学習内容に主体的に取り組める。	課題成果 実験実習レポート 小テスト た 定期考査	課題成果 実験実習レポート 小テスト 定期考査	授業態度 発問評価 課題取組 ノート提出 実験実習レポート
3学期	自然との共生	地球環境と環境問題 災害と防災	a:各種の地球環境問題や災害と防災を理解し，知識を身に付けている。関連のデータを読み取ることができる。 b: 各種の地球環境問題や災害と防災について，関連データを比較・分析し，考察することができる。 c: 各種の地球環境問題や災害と防災の学習や課題考察，実習に主体的に取り組める。	課題成果 実験実習レポート 小テスト 定期考査	課題成果 実験実習レポート 小テスト 定期考査	授業態度 発問評価 課題取組 ノート提出 実験実習レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度